

考える力を身につける

人間はもともとと言われなくても考えられる生き物です。

しかし、「これを考えなさい」と言われると自分で何とかしたいという気持ちが伴っていないので、なかなか真剣に考えられない事があります。

自分で興味を持った事には、いろいろと考えたり、身につく事は、大人も子どもも同じです。

なので、子どもに「自分で考えなさい」と強く言っても逆効果です。

「自由に探索していいよ」という環境に置かれると自然にあれこれと興味を持って取り組んでいきます。

その好奇心を安心して発揮できる環境を作ってあげる事が大事です。

立ち歩きが出来るようになった1、2歳児は、いろいろな事に興味を持って、いたずらをたくさんしますよね。

「いたずら」という表現は大人の感覚で、子どもにとっては真剣な探索活動です。

「これは何かな?」「どんな感触かな?」とあれこれ触ったり口に入れてしまったり、見ていてヒヤヒヤする事もありますが、本当に危険な事をしない限り、大らかな雰囲気の中で自由にさせる事で、子どもの自発的な行動が広がります。

すぐに「ダメ」と禁止されたり、叱られるかなと不安を感じる空間では、何かに集中するのは難しいです。子どもが自分からあれこれ考える事は出来ません。

ゆったりと見守る安心できる環境で、遊びや探索に没頭させてあげる事が大切です。